

第 1 学年 保健体育科 学習指導案

本時の主張

ダンスへの苦手意識がある生徒にとって、体で表現するイメージをもつことが難しい。そこで、教師が動きの模範をたくさん示すことでイメージと動きの経験を増やしていき、その中から自分の表現したものを選択していく。また、体で表現する場合、そのものになりきる動きやパントマイム的なものにせず、「〇〇な感じ」といった感情・動作が見ている人に伝わるようにする。また、生徒が興味や関心をもつような動きを提示し、楽しい雰囲気の中で授業を展開したい。

1 単元名 「ダンス (創作ダンス)」

2 単元の目標

- (1) 思いきり動く、感じを込めて動くなどの楽しさや喜びを味わおうとするとともに、協力して練習しようとする。
- (2) テーマからイメージを膨らませて、動きを作り出そうとする。
- (3) イメージにふさわしい動きを表現し、大きな動きで踊ることができる。
- (4) 創作ダンスの特性、表現の仕方を理解している。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
<ul style="list-style-type: none">・ダンスの特性に関心を持ち、仲間とともに踊る楽しさや喜びを味わえるように進んで学習に取り組もうとする。・互いの良さを認め合い、協力して練習したり、発表したりしようとする。	<ul style="list-style-type: none">・グループの課題や自分の能力に適した課題の解決を目指して、練習の仕方や発表の仕方を工夫している。	<ul style="list-style-type: none">・模倣を繰り返すことで、表現の技能を身に付けている。・自分の表現したい「〇〇な感じ」を表現することができる。	<ul style="list-style-type: none">・ダンスは集団や個人で踊り、表現したり交流したりすることが楽しい運動であるという特性を知っている。・発表の仕方や鑑賞の仕方を理解し、知識を身に付けている。

4 単元と指導の構想

(1) 単元と生徒

・生徒の実態

運動全般に対して、意欲的なクラスである。運動能力の差はあるが、リーダー性のある生徒が活発であり、運動の苦手な生徒も積極的な雰囲気の中で取り組んでいる。

ダンスに対するイメージは、ヒップホップやアイドルグループの振り付けなどの現代的なリズムダンスを思い浮かべる生徒が多い。小学校のダンスでは、地域の伝統である民舞であったり、教育番組のダ

ンスであったりと、自分たちで考えるダンスの経験はゼロであった。

創作ダンスについては、「よくわからない」と答える生徒がほとんどである。「恥ずかしい」「難しそう」「表現することが無理」といったマイナスイメージが多い。その反面、わずかではあるが「おもしろそう」「自分たちでつくるのが楽しみ」といった前向きな意見もあった。

本校ではすべての教育活動において、グループや全体で自分の考えを発表することができる生徒を目指している。学級活動でも話合いの場を多く設定しており、消極的な生徒もリーダーに引っ張られて意見を出すようになった。しかし、興味のないことや経験のないこととなると、全体的に沈んだ雰囲気になってしまう。ダンスにマイナスイメージをもつ多くの生徒に、どれだけ興味・関心をもたせるか、手立ての工夫が必要である。

・ 単元観

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流によって仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動である。また、仲間とともに協力し合って踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことができる運動である。

ダンスの学習を進めることで、仲間や他のグループの発想や動きの良さに声を掛けるなど互いに高め合い、教え合いながら、互いの運動意欲が高まることを理解することができる。また、練習の際に、仲間の動きの手助けをしたり、学習課題の解決に向けて仲間に助言したりしようとすることで、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めて活動することにつながることも理解できるようになる。

また、身近な生活や日常動作からのテーマで自らが表現したいイメージをとらえ、動きを誇張したり、変化を付けたりして「ひと流れの動き」にして表現することができるようになる。そして、変化のあるひとまとまりの表現になるよう「はじめーなかーおわり」の構成で作品を仕上げ踊れるようになる。

(2) 指導の構想

単元を通して、主に次の3点を大切に指導する。

- ① 模倣を通して、多様な動きを高める。
 - ・多様な動きを模倣し、その経験から自分のイメージを表現する。
- ② 楽しい雰囲気の中で活動する。
 - ・毎時間ウォーミングアップ・ダンスで、心と体がリラックスできるようにする。
 - ・生徒がわくわくする興味・関心のあるテーマを設定する。
- ③ 仲間と教え合う・伝え合う場を設定する。
 - ・「〇〇な感じ」といった表現が伝わっているか、①「伝わり度」、②「ユニーク度」、③「メリハリ度」で評価する。

5 単元の指導計画（全8時間）

時	学習のねらい（○）と 主な活動内容（・）	評 価				
		関	考	表	知	評価規準
1	<p>○オリエンテーション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの授業のねらいと目標を理解し、学習の進め方を把握する。 <p>○ウォーミングアップダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師と一緒に体を動くことで、心と体がリラックスできるようにする。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ダンスの特性を理解している。 ・学習のめあてをつかむことができる。 ・意欲的に取り組み、ダンスの楽しさを味わおうとしている。
2	<p>○ウォーミングアップダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせて楽しく体を動かす。仲間と交流する。 <p>○ミニ創作（名前，台所）</p> <p>○ペーパームーブメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパーを使ってペアでイメージして動く。 	○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・友達と協力しながら、意欲的に練習や作品づくりに取り組む。
3	<p>○運動課題1</p> <p>「集まる－飛び散る」「伸びる－縮む」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とともに説明内容，ポイントを確認しながら動く。 <p>○教師の動きを模倣して，イメージを膨らませ，表現の幅を広げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2グループでミニ作品の見せ合いをして，互いの動きの良さを見付ける。 	○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の模倣を繰り返し，表現の技能を身に付ける。 ・自分の表現したい「○○な感じ」を表現する。 ・互いの良さを見付け，伝え合う。
4	<p>○運動課題2</p> <p>「走る－止まる－見る」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師とともに説明内容，ポイントを確認しながら動く。 ・教師の動きを模倣して，イメージを膨らませ，表現の幅を広げる。 ・教師の動きから選択した動きと課題から思い浮かぶ動きで作品づくりができる。 <p>○2グループでミニ作品の見せ合いをして，互いの動きの良さを見付ける。また，アドバイスをし，互いを高める。</p>	○		○		<ul style="list-style-type: none"> ・教師の模倣を繰り返し，表現の技能を身に付ける。 ・自分の表現したい「○○な感じ」を表現する。 ・互いの良さを見付け，伝え合う。 ・動きをより良くしようと，協力しながら練習に取り組もうとしている。

5	○運動課題3 「走るー止まるー見る」に「跳ぶー転がる」加え、表現の幅を広げる。 ・3グループずつミニ作品の見せ合いをして、互いの動きの良さを見付ける。また、アドバイスをし、互いを高める。	○	○	○	・友達と協力しながら、意欲的に練習や作品づくりに取り組む。 ・テーマからイメージを広げ、テーマに合った動きを工夫している。 ・互いの良さを見付け、認め合っている。 ・互いの動きをより良くしようと、協力しながら練習に取り組もうとしている。
6	○運動課題4 「日常生活いろいろ」 ・イメージマップの活用 ・前時までの運動課題を取り入れて作品づくりをする。	○	○	○	・友達と協力しながら、意欲的に練習や作品づくりに取り組む。 ・テーマからイメージを広げ、テーマに合った動きを工夫している。 ・練習や発表の仕方を工夫している。
7	○簡単な小作品の創作 ・「はじめーなかーおわり」で作品づくりをする。 ・前時までの運動課題を取り入れて作品づくりをする。 ・3つのグループで見せ合い、互いに助言し合い、作品の完成度を高める。	○	○		・テーマに合った動きを体全体を使って踊ることができる。 ・練習の仕方や発表の仕方を工夫している。 ・ダンスの良い動きや共感、感動するなどの鑑賞の仕方を理解する。
8	○発表・交流・まとめ ・グループ毎の発表会をし、互いの動きの良いところや踊りの工夫などを見付け、伝え合う。	○		○	○ ・互いの動きをより良くしようと、協力しながら練習に取り組もうとしている。

6. 本時の学習（全8時間、本時4時間目）

（1）本時のねらい

- 教師の動きを模倣して動くことができる。
- 表したい感じに合った動きを用いて動くことができる。
- 表現したいことを相手に伝えたり、互いの良さを伝え合ったりすることができる。

（2）本時の構想

1. 手立て①「模倣」

初めて体験する創作ダンスの動きの財産を増やす過程として、模倣を多く取り入れる。模倣から動きのイメージをつかませる。

2. 手立て②「教え合う・伝え合う場の設定」

自分のイメージと動きは合っているのか、見ている人に伝わっているかを確認するための、教え合う場や伝え合う場を意図的に設ける。

(3) 本時の展開と評価

学習内容・活動	主な教師の働きかけと生徒の反応	指導上の留意点と評価 (・:留意点, ★:評価)
<p>○集合, あいさつ</p> <p>○ウォーミングアップ (リズムダンス)</p>	<p>T: 誰とでも楽しく踊り, 仲間とかかわり合いながら心と体がほぐれるように声がける。</p> <p>S: ペアになって楽しく踊る。</p>	<p>・大きな声でカウントをとり, 楽しい雰囲気をつくる。</p>
<p>○本時のねらいをつかむ。</p> <p>・様々な「見る」を考え, 動いてみる。</p> <p>○模倣する。</p> <p>・一人で動く。</p> <p>・リズムや動きの違いによる。「走る(歩く)」</p>	<p>T: 本時は「走る(歩く)ー止まるー見る」の運動課題から各自がイメージを広げて, 体全体を使って踊ることを伝える。</p> <p>T: 様々なものを見るとき, どんな動きをして見ているかを3つ考えさせる。</p> <p>S: 時計を見る, 遠くを見る, 空を見る, 落ちているものを見る, 寝そべって見る, 他</p> <p>T: 出た意見の「見る」を教師が表現する。</p> <p>T: 「見る」動きによって「○○な感じ」が表現できることを伝える。</p> <p>T: 全体を半分に分け, 片方ずつ見せ合わせる。よいと思った「見る」の動きをまた3つ決め, 実際にやらせてみる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T: いろいろな種類の「走る(歩く)」の模倣をさせる。 実際にやらせてみる→どんなイメージをもつか考えさせる。</p> </div> <p>S: ①歩く (胸を張る, うつむく, 緩急をつける) …偉そう, 落ち込んでいる感じ, 苦しい感じ, 解放される感じ ②後ろ歩き (緩急をつける) …何かから逃げる・怯える感じ 他 ③前・後ろ忍び足 …こそこそした感じ ④スキップ …幸せな感じ, 嬉しい感じ ⑤早歩き …急いでいる感じ, 怒った・イライラしている感じ</p>	<p>・ねらいの理解と授業の見通しをもたせる。</p> <p>・おもしろい動きを入れ, 生徒が興味をもてるようにする。</p> <p>・大きく動いている生徒をほめ, 紹介する。</p> <p>・曲を流したり, おもしろい動きを入れたりして, 心がリラックスできるようにする。</p>

<p>・「走る（歩く）」に「止まる－見る」を加える。</p> <p>・「走る（歩く）－止まる－見る」の教師の模倣作品を一緒に行う。</p> <p>○小作品の創作</p> <p>○小作品の発表 ○鑑賞する。</p> <p>○評価し、教え合う。</p>	<p>⑥小刻み走り（緩急をつける）・・・忙しい感じ、焦っている感じ、ゆったりしている感じ</p> <p>⑦歩腹前進・・・苦しそうな感じ</p> <p>T: いろいろな種類の「走る(歩く)」に「見る」を加えて「走る(歩く)－止まる－見る」の簡単な創作の模範作品を見せ、模倣させる。</p> <p>【題】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 枯れそうな植物 → 苦しそうな感じ 2. 殺虫剤から逃げようとするゴキブリ → ①焦っている感じ ②コソコソした感じ 3. 春が来たことを喜ぶ虫 → 幸せな（嬉しい）感じ 4. 静かに止まる風 → ゆったりとした感じ <p>T: 創作をさせる。※30秒前後（曲付き） 模範の中から選んでよい。 自分たちで新たに考えたい場合は、題の一部を変えてもよい <例> 激しく荒れ狂う風、静かに流れる川</p> <p>S: 2人組になり、この3つの中から自分たちの表現したい動きを選択して練習する。</p> <p>T: 兄弟グループで、創作する「題」と一番伝えたい「〇〇な感じ」を表現することを 見ているペアに伝えさせる。 表現したい動きが相手に伝わっているか、 1回ずつ発表させる。</p> <p>S: 良かったところや表現したいことが伝わってくるかどうか評価して伝えさせる</p>	<p>・おもしろい動きを取り入れて、楽しい雰囲気をつくる。</p> <p>・曲はイメージのためではなく、30秒の目安にするためのもの</p> <p>★表したい感じに合った動きを用いて動いている。</p> <p>【技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あくまでも、「〇〇な感じ」を伝えるようにさせる ・そのものになりきらない（パントマイム的なものにならない）ようにさせる。 ・兄弟グループ（4人）： 男子ペア＋女子ペア <p>★ペア、グループと協力して活動できる。【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・困っているペアを支援する ★仲間の動きの良さをみつけることができる。【関心】
--	--	---

<p>・ 2度目の発表・鑑賞</p> <p>・ 評価し、教え合う。</p>	<p><評価></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>★○○な感じの伝わり度 大 ← 5 4 3 2 1 → 小</p> <p>★ユニーク度 (おもしろい動き) 強 ← 5 4 3 2 1 → 弱</p> <p>★メリハリ度 強 ← 5 4 3 2 1 → 弱</p> </div> <p>S: どう伝わったかを聞き、もっと工夫できるところをペアで話し合う。</p> <p>S: 工夫したところを加え、2度目発表する。</p> <p>T: アドバイスしたことが生かされ、1回目の発表よりも伝わっているか、よく見て評価させる。</p> <p>S: 評価し合う。</p> <p>T: 上手なペアを選び、発表させる。</p>	<p>・ 教師の気付いたことを伝える。</p> <p>・ 評価が5(大・強)だったペアを賞賛し、1(小・弱)だったペアには5に近づくための助言をし、2回目の発表につなげる。</p> <p>(例) 表情をつける ダイナミックな動き 等</p> <p>・ 上手なペアは何がよいか、ポイントを伝える。</p>
<p>○感想の記入</p> <p>○本時のまとめと次時の学習内容の確認</p> <p>○あいさつ</p>	<p>S: 創作した感想、兄弟グループにどのようなアドバイスや良さを伝えてもらったかを学習カードに記入する。</p> <p>S: 次時の学習内容を理解する。</p>	<p>・ 自己の課題を見付けさせる。</p>